

## ◎「ウクライナ支援」 News Letter(25)

2024年8月12日

ミッション・宣教の声

主にある皆様へ

いつも、祈り覚えてくださり感謝します。

ロシア軍がウクライナに攻撃を加えて、もはや900日となりました。今なを多数の方々が苦しみの渦中に置かれています。どうぞ、祈り覚えて下さい。先日、船越宣教師夫妻が短期で来日されました。そして帰国されて、次のように第一信が入りましたので、皆様にお知らせします。どうぞ、続いて船越宣教師夫妻、オデーサ・バプテスト教会、そして多くの兄弟姉妹を覚えて下さい。

黒田 禎一郎

\*\*\*\*\*

私たちは土曜日にウクライナに無事に戻ってくることができました。

ウクライナに入ると緊張感を覚えるかと思いましたが、なぜか逆にホッとしました。不思議な感覚でした。

昨日(8/11)の午前はポサド・ポクロフスケ教会(ヘルソン州)とチェルノバイフカ教会(ヘルソン市郊外)の礼拝に参加し、説教の奉仕をさせていただきました。午後はヘルソン市内にある教会のオレグ牧師とも会うことができ、再会を喜びあい、支援を届けることができました(先週の木曜日、この教会の敷地内にロシア軍のドローンから手榴弾が投下され、教会の車が破壊されていました)。

ヘルソン市ではここ数週間、一般市民へのロシア軍ドローンからの手榴弾の投下が頻発しています。引き続きヘルソン教会とオレグ牧師家族が一切の危険と悪から守られ、そこで宣教が拡大し、主の栄光が表されるようにお祈りください。オデッサ教会では今日は勇貴が礼拝で説教し、用いられました。

船越真人

## 祈りの課題

- 1.ウクライナ・ロシア戦争の停止・終息のため
- 2.日本からの支援献金が豊かに用いられますように。
- 3 苦難の中でもキリストの福音が宣べ伝えられますように
- 4.戦争疲れと精神的ストレスが守られますように。
- 5.教会(集会)指導者に、神の助けと導きがありますように

※ この News Letter は不定期発行で、メール送信しています

※ 「ミッション・宣教の声」の オンライン献金先は次です。  
導かれた方はどうぞご利用ください。

<https://vomj.jp/free-donation/>



